

(3) 平成12年7月17日(月) 郡山市

※ 公募対象

- 公立中学校生徒 ○県立高等学校生徒
- 盲・聾・養護学校生徒

※ 応募総数103名(中84名、高16名、盲聾養3名)

※ 選考方法 申込書と一緒に提出いただいた意見発表要旨を参考にした。

① 意見発表者(10名)

- ・田口 裕光(磐城高1年)
- ・渡辺 南(常葉中3年)
- ・石井あかり(安積女3年)
- ・小野 和佳(平養護高等部3年)
- ・高橋 智子(安達中1年)
- ・根本 勝博(小名浜高1年)
- ・関根亜優美(矢吹中3年)
- ・菅野 慎吾(常葉中3年)
- ・真野未有希(浪江高3年)
- ・市原 一樹(野田中3年)

(中学生5 高校生5 / 男子5 女子5)

② 県教育委員会及び教育庁の出席者

県教育委員会関係出席者

県教育委員会委員長 吉田 彌
 県教育委員会教育長 高城 俊春
 県教育庁教育次長 古市 孝雄
 県教育庁総務課長 茂里 毅
 県教育庁義務教育課長 佐藤 晃
 県教育庁高等学校教育課長 富田 孝志
 県教育庁養護教育課長 鈴木 弘文
 県教育庁生涯学習課長 安齊 真人
 県教育庁文化課長 星 本文
 県教育庁スポーツ健康課長 片平 俊夫
 県教育庁県中教育事務所長 遠藤 久夫
 県教育庁企画主幹兼課長補佐 遠藤 和夫
 県教育庁総務課主幹兼課長補佐 雉子波 信夫

教育広聴会事業事務局

県教育庁総務課企画班主任管理主事 菅野 貴夫
 県教育庁総務課企画班管理主事 久保田 範夫
 県教育庁総務課広報調査係長 佐久間 光春
 県教育庁総務課広報調査係管理主事 箱崎 温夫

(4) 平成12年8月28日(月) 郡山市

※ 公募対象

平成12年4月1日現在で18歳以上で福島県在住の方

※ 応募総数 14名

※ 募集期間 6月26日～7月14日

① 意見発表者(7名)

- ・清水 国明(鮫川村)
- ・岩崎菜穂子(須賀川市)
- ・赤間 利晴(福島市)
- ・板倉 恵(郡山市)
- ・西名 公吉(須賀川市)
- ・加藤 泰子(福島市)
- ・草野 晃(いわき市)

② 県教育委員会及び教育庁の出席者

県教育委員会関係出席者

県教育委員会委員 小口 潔子
 県教育委員会教育長 高城 俊春
 県教育庁教育次長 古市 孝雄
 県教育庁総務課長 茂里 毅
 県教育庁義務教育課長 佐藤 晃
 県教育庁高等学校教育課長 富田 孝志
 県教育庁養護教育課長 鈴木 弘文
 県教育庁生涯学習課長 安齊 真人
 県教育庁文化課長 星 本文
 県教育庁スポーツ健康課長 片平 俊夫
 県教育庁県中教育事務所長 遠藤 久夫
 県教育庁企画主幹兼課長補佐 遠藤 和夫
 県教育庁総務課主幹兼課長補佐 雉子波 信夫

教育広聴会事業事務局

県教育庁総務課企画班主任管理主事 菅野 貴夫
 県教育庁総務課企画班管理主事 久保田 範夫
 県教育庁総務課広報調査係長 佐久間 光春
 県教育庁総務課広報調査係管理主事 箱崎 温夫

11 「新世紀うつくしまふくしまを担う人づくり」を語る

～知事と教員との座談会～

(1) 目的

21世紀を迎えるにあたり、「新世紀うつくしまふくしまを担う人づくり」について、児童生徒の教育活動に直接携わっている活力ある教員の生の声を、教育施策等に反映できるように、知事の出席をいただき開催する。

(2) 期 日

平成12年12月14日(木)

(3) 場 所

杉妻会館

(4) 参 加 者

【県】県知事、教育委員長、教育長、教育次長、総務課長

【教員】義務教育5名、県立学校4名

(5) 内 容

学校・地域・家庭との連携を通して、生きる力を育む教育実践、生きる力を育てる教育の充実を目指して、豊かな心や社会性を育む学校経営、心豊かで主体性に富んだ生徒の育成、地域の人々の生き方に学び、自分の生き方を考える、高等学校における情報教育の現状と課題、国際人として生きる、国際観光科の活性化について、自立につながる力、生きる力を育む養護教育について